

本朝諸社一覽

貞享二乙丑年（一六八五年）八月吉日。坂内直頼著。

1

○志津社シツノ 久茲郡クジノニ有リ 祭神一座

手力雄命タチカラオノ 思兼命オモヒカネノノ子也 傳系有リレ上

神紀ノ所レ載大神 入レ窟之時ニ有レ功信州戸隱神トカクシノ

同垂跡也 啓 已上東海道畢ヌ

註 日本古典籍総合目録データベースの「本朝諸社一覽」
（諸社一覽、盛岡公民、281-24-1、023
49、刊、貞享2年、8冊、100116083）の283コマ目

2 信濃の項として諏訪社に続いて戸隠社、信濃はこの二社
で次は上野となる。

○戸ト隱カクシ社 同国ニ有リ 祭神 手力雄神タチカラオノ

○日ノ神入玉フニ天ノ石窟イハクツニ一時手力雄ノ神立カクレタツニ磐戸ノ之側トワキニ一日ノ神

以テニ御手ミヲ一細ホソメニニ開アケ磐戸玉ヒテヲ一窺ミシナハス之時タマハリテニ手力雄ノ神則奉ニ、

承御手ヒキイダシタテヲ一引マツル而奉レ出 日本紀

神書抄ワキニ云伊勢内宮ノ相殿ノ左ノ脇ニ祭ルニ此ノ神ヲ一々々者

思ヒ兼ミノ神之子ミコナリ也戸隱ナリノ明神是也

或説ニ云手力雄ノ命取テニ岩戸ヲ一抛テレ空ニ落テ在リニ信州戸

隱ニ一故ニ云フレ尒 已上神社考同之

(抛テレ空ニの空ニにルビあるも潰れて読めず)

註 日本古典籍総合目録データベースの「本朝諸社一覧」

(諸社一覧、盛岡公民、281-24-1、023

49、刊、貞享2年、8冊、100116083 DOI

10.20730/100116083) の318、319コマ目